

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 unité		
○保護者評価実施期間	令和7年3月19日		～ 令和7年3月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○従業者評価実施期間	令和7年3月24日		～ 令和7年3月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士・公認心理師・保育士・児童指導員といった専門職が療育・支援に関わっている。	<ul style="list-style-type: none"> 各専門職がプログラムの作成に関わっている。 個別療育では専門的支援実施計画書を作成。 一人ひとりのアセスメントを各専門職の視点で行うよう務めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門職については配置のみではなく、より専門性を活かしたプログラムが実施していけるように、研修等を交えて専門性を高めていきたい。 また、多職種での意見交換や事例検討などを定期的に行い連携し、より良い支援プログラムを実施していきたい。
2	一人一人の特性や発達段階に合わせ、個別の支援を行いながら、小集団でも活動できるようにサポートしていく。	<ul style="list-style-type: none"> 担当者を中心に、子ども一人ひとりの支援に取り組んでいる。また、職員全員で振り返りを行い、改善につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> 週案・月案を作成し、支援内容の共通理解及び一人ひとりの児童の特性や対応方法などの理解を深めていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の情報共有や交流機会の企画、研修などによる、ネットワークづくりの仕組みが不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの個別相談に対するアドバイスや助言はできているが、多くの保護者を対象とした研修や情報提供の取り組みはできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は年間計画に研修等を組み込むなど、家族相談につなげていく。 イベントや座談会、相談会などを計画的に行い、保護者同士のネットワークを作れるようにサポートしていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 利用児と地域との交流機会や・提供不足。 	<ul style="list-style-type: none"> 療育内容や支援といった「本人支援」に重点を置いており、「地域支援・地域連携」に対する情報収集不足・取り組み不足。 年間計画として立案できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の施設や関係機関との交流やイベントへの参加などの企画立案において、保護者のニーズ・意見を参考に、年間計画として立案する。
3			